

2011年9月14日

防衛大臣  
一川 保夫 殿

衆議院議員 照屋 寛徳

参議院議員 山内 徳信

### 米軍普天間飛行場周辺から相次ぐ警報音の原因究明等に関する要請

去る9月4日くらい、米軍普天間飛行場周辺から原因不明の警報音が不定期に鳴り響いている。

警報音は、宜野湾市が把握しているだけで12日までに9回、早朝午前6時から鳴り響いているものもある。同飛行場東側のフェンス付近から聞こえ、一度鳴ると約5分間にわたって大音量が続く。

警報音について、在沖海兵隊は「サイレン音は普天間飛行場からのものではない」「(同飛行場における)訓練の記録はない」と否定しているようだ。一方で、宜野湾市は「市の防災無線が使用された事実はなく、基地近くにあるポンプ場でも警報が鳴るシステムはない」とする。

客観的状況から判断するに、普天間飛行場から派生した警報音である可能性が高い。

いずれにせよ、宜野湾市には、基地周辺の保育所等から「緊急的な避難をしなければならないものなのか」などと心配する声や問い合わせが殺到している。近隣住民が軍用機以外の騒音に不安を募らせていることは間違いない。

不要な混乱を避けるためにも、防衛省におかれては、下記について適切な措置を講じられるよう要請するものである。

#### 記

1. 普天間飛行場周辺から不定期に鳴り響く警報音の発生源の特定および原因究明のため、米軍当局に再調査の実施とその徹底を申し入れること。
2. 調査結果が判明次第、宜野湾市及び県当局に情報提供すること。
3. 普天間飛行場内を発生源とする警報音であるならば、実効性ある再発防止策を講じたうえで宜野湾市及び県当局に説明すること。

以上